

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。(Since 2006)

目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➤ 会議・イベント案内 & 冊子等の紹介	8

JRRN 事務局からのお知らせ JRRN Activity Report

小さな自然再生普及プロジェクト「小さな自然再生」現地研修会（全3回）開催案内

皆様お待たせしました。ようやく、今年度3回実施する「小さな自然再生」現地研修会（主催：「小さな自然再生」研究会/JRRN）の企画が定まり、参加者募集を開始しました。

本年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、人数制限や地元関係者を中心とした開催、また開催の様子を収録後にオンデマンド配信を行う等、例年と異なる開催方式となる行事もありますが、是非ともご参加頂ければ幸いです。

なお、本年の行事は、緊急事態宣言等で大変な中でも、開催地募集にご応募いただいた地域での開催になります。企画から準備段階までご尽力いただきました地元関係各位に厚く御礼申し上げます。

各行事の詳しい案内や参加申込方法につきましては、次頁以降の案内チラシを御覧ください。

(和田彰)

**第12回「小さな自然再生」現地研修会
～自然観察から都市河川でできることを考える～**

- ◆日時： 2021年11月14日（日）
- ◆場所： 東京都中野区・善福寺川

環境意識や防災意識の向上、さらには郷土愛醸成やシビックプライドの向上を図ることを目的に、中野区の子供達に川で遊び学ぶ機会を提供し、今後新たに地域でできることについて考えます。



**第13回「小さな自然再生」現地研修会
～河口部・内湖の保全と再生を考える～**

- ◆日時： 2021年11月21日（日）
- ◆場所： 滋賀県守山市・大川

大川河口部の湿地環境として価値を評価し、環境教育や地域の賑わい創出の場として、魚や水生昆虫などが増え、生物の多様性を高めるためにできることを考えます。



**第14回「小さな自然再生」現地研修会
～釧路川支川の魚類生息環境を再生する～**

- ◆日時： 2021年11月28日（日）
- ◆場所： 北海道釧路市・釧路川流域

釧路湿原自然再生事業として実施されている、手づくり魚道や産卵環境づくりなどの小さな自然再生の実践現場から、魚類の遡上・生息環境の再生技術や手づくり施工のノウハウを学びます。



第12回 東京都中野区・神田川流域善福寺川

「小さな自然再生」現地研修会

参加者
募集

～“なべよこ善福寺川探検隊”

自然観察から都市河川でできることを考えよう～

開催日

令和3年

11月14日



※雨天時は座学プログラムのみに変更

【開催趣旨】ここ四半世紀以上、中野区内の河川に区民が下りたことはなく、区民と河川の距離は、物理的には近くても遠く離れた存在でした。

本研修会では、環境意識や防災意識の向上、さらには郷土愛の醸成やシビックプライドの向上を図ることを目的に、自然との触れ合いに乏しい中野区の子も達に川で学び遊ぶ機会を提供し、今後新たに地域でできることについて考えます。

開催日時

令和3年11月14日（日）12:30～16:00

会場

鍋横区民活動センター、神田川流域・善福寺川 朝日橋～光明橋間

対象

青少年育成鍋横地区委員会「わくわく隊」メンバー（小学4年生以上）と保護者、一般参加者（若干名）

定員

40名（予定） ※申込み先着順

※参加申込方法、会場へのアクセス、
問合せは裏面をご覧ください。

参加費

無料

持ち物

アクアシューズ（滑らない靴）、防寒着 ※主催者側で「救命胴衣」と「ヘルメット」を用意します

その他

- 新型コロナウイルス感染防止のため、参加者はマスクの着用をお願いします。
- 悪天候の場合には、生き物観察会は行わず、鍋横区民活動センターにおいて座学のみとさせていただきます。
- 消毒液の設置等、主催者側でも感染拡大防止対策を行います。

プログラム

※主催者側で行事保険に加入いたします。

<第1部：神田川について学ぶ>

(12:30) 開会挨拶（小宮山たかし：青少年育成鍋横地区委員会副委員長）

(12:35～13:25) 神田川について（座学研修）

- 神田川の昔（関正行：千代田町会長）
- 神田川に暮らす生きものたち（白尾豪宏：公益財団法人リバーフロント研究所）、質疑応答

<第2部：善福寺川での自然観察会>

(13:30～14:10) 神田川沿いを歩きながら善福寺川へ移動（徒歩）

(14:10～15:30) 善福寺川での自然観察会

- 現地指導：白尾豪宏（同上）、池田裕一（公益財団法人リバーフロント研究所）、岩瀬晴夫（株式会社北海道技術コンサルタント）
- 善福寺川に入り、専門家を交えて参加者で水生生物を観察します。

(15:30～16:00) 鍋横区民活動センターへ移動（徒歩） →閉会（16:00）



河川
基金

公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

主催：青少年育成鍋横地区委員会、「小さな自然再生」研究会、日本河川・流域再生ネットワーク

後援：中野区

会場のご案内

〒164-0012 東京都中野区本町5-47-13

Tel: 03-3383-2731

集合場所・研修会場

鍋横区民活動センター 和室

鍋横区民活動センター



申し込み方法

E-mail : info@a-rr.net

必要事項（氏名・所属・連絡先等）を明記の上、E-mailでお申し込み下さい。

申込〆切日：令和3年11月10日（水）17:00

項目	記入欄
(ふりがな) 氏名	
所属	
連絡先	〒
	住所：
	電話：
	Email：

※記入された個人情報は、厳重に管理した上で、JRRNが主催する行事等のご案内に利用させて頂く場合がございますので、ご了承願います。

【お問合せ】 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局 (担当：和田彰・白尾豪宏)
〒104-0033 東京都中央区新川1-17-24 NMF茅場町ビル7階 (公財) リバーフロント研究所内
Tel: 03-6228-3863 Fax: 03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net
Website: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>



第13回 滋賀県守山市・野洲川流域大川

「小さな自然再生」現地研修会

～河口部・内湖の保全と再生を考える～

参加者
募集

開催日

令和3年

11月21日

雨天決行

日

【開催趣旨】 守山市を流れる大川は、琵琶湖に注ぐ野洲川の日河道の一つです。琵琶湖の環境保全や地域振興を目的に、大川河口部を含む第2なぎさ公園を「滋賀セブンの森」と定め、セブン-イレブン記念財団の助成を受けながら市民と企業と行政が連携し湖岸清掃や小さな自然再生に取り組んでいます。

本研修会では、現地視察と座学を通じて、大川河口部の湿地環境としての価値を評価し、環境学習や地域の賑わい創出の場として、魚や水生昆虫などが増え、生物の多様性を高めるためにこれからできることについて参加者とともに考えます。

※本研修会は、「第5回滋賀セブンの森」に合わせて開催致します。

開催日時

令和3年 11月 21日 (日) 9:00~16:30 (集合時間: 8:50)

集合場所

第2なぎさ公園内「第5回滋賀セブンの森」受付 ※8:50までに胴長靴着用で受付を済ませて下さい

会場

美崎公園パークセンター 会議室 <〒524-0101 滋賀県守山市今浜町十軒家2870-2>

対象

小さな自然再生に関心のある方々

※参加申込方法、集合場所&会場へのアクセス、問合せは裏面参照。

定員

30名 (予定)

参加費

無料

新型コロナウイルス感染防止のため、参加者はマスクの着用をお願いします。主催者側でも感染拡大防止策を行います。

持ち物

胴長靴 (ウェーダー)、防寒着、昼食 (ピコドーターズの湖魚弁当を事前注文可能 ※裏面参照)

プログラム

※プログラム及び講演タイトルは一部変更の可能性もあります。
※主催者側で行事保険に加入いたします。



土木学会CPD認定プログラム
(JSCE21-1380 6.4単位)

(~8:50) 「第5回滋賀セブンの森」受付に集合

(9:00~12:50) 「第5回滋賀セブンの森」参加、湖岸清掃をしながら新川河口部及び大川河口部の現地視察

■現地案内・指導: 淡海を守る釣り人の会、丹羽英之 (京都先端科学大学)、佐藤祐一 (琵琶湖環境科学研究センター)、
瀧健太郎 (滋賀県立大学)、岩瀬晴夫 (株式会社北海道技術コンサルタント)

- 湖岸清掃をしながら新川河口部及び大川河口部を巡り、参加者とともに河口部の水環境や生物を学びます。

(12:50 ~ 14:00) 座学会場移動 及び 昼食 ※駐車場を経由し移動するため、途中で胴長靴からの着替え可能

(14:00~16:30) 大川河口部の湿地環境を学ぶ座学研修

- 挨拶 (武田みゆき: 淡海を守る釣り人の会 副代表 / 土屋信行: 日本河川・流域再生ネットワーク 代表理事)
- 内湖周辺湿地の植生 (丹羽英之: 京都先端科学大学バイオ環境学部 教授)
- 内湖の機能・価値と再生の方策を考える (佐藤祐一: 琵琶湖環境科学研究センター総合解析部門 専門研究員)
- 大川河口部の保全・再生のためにこれからできることの見聞交換会

(16:30) 閉会 ※現地で解散



公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

主催: 淡海を守る釣り人の会、「小さな自然再生」研究会、日本河川・流域再生ネットワーク

後援: 滋賀県、守山市、(一財)セブン-イレブン記念財団

第14回

北海道釧路市・釧路川流域

「小さな自然再生」現地研修会

～釧路川支川の魚類生息環境を再生する～

開催日

令和3年

11月28日

日

【開催趣旨】 釧路川流域では、農業生産効率向上を目的とした排水事業により、1990年代まで流路の直線化や落差工が設置され、魚類の産卵環境減少や遡上障害が生じています。そこで、流域住民や関係行政機関が協働し、釧路川支川の魚類の遡上・生息環境の再生に向けた手づくり魚道設置等の取組みが、釧路湿原自然再生事業の一環として実施されています。

本研修会では、手づくり魚道や産卵環境づくりなどの小さな自然再生の実践現場から、魚類の遡上・生息環境の再生技術や手づくり施工のノウハウを参加者で学び合います。

※本活動は、河川管理者より許可を得て実施します。また、資源保護のため支川名称等の場所の詳細は明示しておりません。

開催日時	令和3年11月28日(日) 9:30~16:30
会場	釧路市立博物館 講堂 <〒085-0822 釧路市春湖台1-7>
対象	小さな自然再生に関心のある方々
定員	会場 & 現場 : 50名 ※右記参照 ※午前の座学研修のみ、収録・編集後に、後日改めてオンデマンド配信いたします。
参加費	無料
持ち物	洞長靴(ウェーダー)、作業用手袋、防寒着、昼食
プログラム	※プログラム及び講演タイトルは一部変更の可能性もあります。 ※主催者側で行事保険に加入いたします。

本行事は、新型コロナウイルス感染防止の観点より、当日の会場及び現場の参加者は、講師及び現地関係者に限定させていただきます。但し、午前の座学研修のみ、収録・編集後にオンデマンド配信することとします。



オンデマンド配信プログラムは、土木学会CPD認定プログラムを予定しています。※開催後に案内します

(9:30~12:00) 釧路川支川や道東の魚類生息環境再生の取組を学ぶ座学研修 (釧路自然保護協会 創立50周年記念講演)

- 開会挨拶 (神田房行: 釧路自然保護協会 会長)
- これからの自然再生の目指すべき姿 (中村太士: 北海道大学大学院農学研究院 教授/釧路湿原自然再生協議会 会長)
- 小さな自然再生大きな役割 (三橋弘宗: 兵庫県立大学自然・環境科学研究所/兵庫県立人と自然の博物館)
- 道東におけるシマフクロウ等希少鳥類の生息環境整備の取り組み (北橋隆史: 環境省釧路自然環境事務所)
- 美幌町で取り組む様々な魚道づくり (町田善康: 美幌博物館)
- 知床で鮭が自力で川をのぼれる環境を復活させたい! (森高志: 斜里町水産林務課)
- 午後の釧路川支川自然再生事業の概要紹介及び現地研修内容説明 (野本和宏: 釧路市立博物館)
- 質疑応答

(12:00 ~ 14:00) 昼食、釧路川上流域の支川へ移動

(14:00 ~ 16:30) 自然再生事業地の魚道等見学・現地研修

- 魚道工法、工夫した点など解説 (岩瀬晴夫: 株式会社北海道技術コンサルタント)

(16:30) 閉会 ※現地にて解散



河川
基金



北海道の希少動物と自然環境を守る。

ほく-基金

本活動は、公益財団法人河川財団による河川基金、ほく-基金北海道生物多様性保全助成制度、及び北海道、北海道ココアポトリング(株)、公益財団法人北海道環境財団の三者による協働事業「北海道e-水プロジェクト」の助成を受けています。

主催: 釧路自然保護協会、日本河川・流域再生ネットワーク、「小さな自然再生」研究会

協力: 釧路市、釧路湿原自然再生協議会 河川環境再生小委員会

【お問合せ】 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局 E-mail: info@a-rr.net (担当: 和田・白尾)

会議・イベント案内 (2021年10月以降) *Event Information*

(国内の河川・流域再生に関する主なイベント)

■令和3年度 多自然川づくり 近畿地方ブロック会議

○日時：2021年11月5日(金) 9:45~16:20

○主催：近畿地方整備局

○場所：会場及びオンライン(zoom)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3263.html>

■大河川における多自然川づくりセミナー 第4回『どうすれば良い？大河川における多自然川づくり』

○日時：2021年11月12日(金) 16:00~17:00

○主催：多自然川づくりサポートセンター

○場所：オンライン形式 (Zoom ウェビナー)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3265.html>

■土木の日シンポジウム 2021 グリーンインフラと市民普請～自然のなかでいける技術のあり方～

○日時：2021年11月14日(日) 13:00~15:30

○主催：土木学会土木広報センター市民交流グループ

○場所：オンライン形式 (Zoom ウェビナー)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3261.html>

■応用生態工学会名古屋 web セミナー「多自然川づくりのこれまでと、これからへの期待」

○日時：2021年11月17日(水) 13:30~16:30

○主催：応用生態工学会名古屋

○場所：オンライン形式 (Zoom ウェビナー)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3252.html>

■応用生態工学会金沢 WEB 研修会「水辺のグリーンリカバリーを考える」

○日時：2021年11月17日(水) 13:30~16:30

○主催：応用生態工学会金沢

○場所：オンライン形式 (zoom)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3254.html>

■第29回 リバーフロント研究所研究発表会

○日時：2021年11月22日(月) 13:00~

○主催：公益財団法人リバーフロント研究所

○場所：オンデマンド配信

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3269.html>

■第18回「川の自然再生」セミナー 自然と共生するDX～河川・流域環境を把握する最新技術～

○日時：2021年12月2日(金) 14:00~17:00

○主催：公益財団法人リバーフロント研究所

○場所：オンライン形式 (Zoom ウェビナー)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3277.html>

■令和3年度河川情報シンポジウム

○日時：2021年12月3日(金) 10:00~17:00

○主催：一般財団法人 河川情報センター

○場所：ベルサール半蔵門 (東京都千代田区)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3275.html>冊子等の紹介 *Publications*

■できることから始めよう 水辺の小さな自然再生事例集 第2集



市民が河川や水路の管理者と連携して日曜大工的に取り組む「小さな自然再生」の事例集の続編(第2集)の印刷製本版を普及中です。

本事例集は、水辺の小さな自然再生に取り組む全国の担い手の皆さまに、活動の経緯や目的、実施体制、工法の説明や工夫した点、使用材料や工具、施工後の維持管理や利活用の工夫、活動の効果やキーパーソンなどを執筆頂いたものです。

- 編集：「小さな自然再生」研究会
- 企画・構成：吉富友恭 東京学芸大学環境教育センター
- デザイン：本間由佳 明星大学 デザイン学部 デザイン学科
- 発行：日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)
- 発行年月：2020年3月

■送付申込受付中 → <http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1149.html>

本事例集の印刷製本版の送付をご希望の方は、送料(250円)のみご負担頂いた上で、2冊を上限に無料でご提供致します。詳細は上記URLをご覧ください。

■上記冊子の入手方法 ※PDF版はこちらから：<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/>

JRRN 会員募集中 JRRN membership

■ JRRN の登録資格 (団体・個人)

JRRN への登録は、団体・個人を問わず無料です。市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

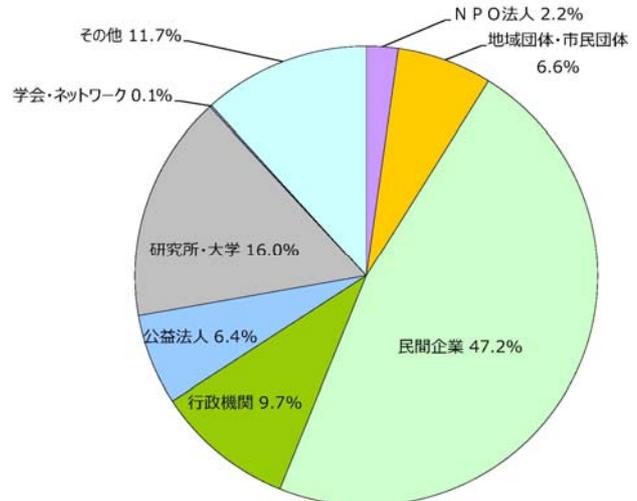
会員登録をされた方々へ様々な「会員特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週 1 回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2021年10月31日時点の個人会員の所属構成

(個人会員数：823名、団体会員数：62団体)

※10月の新規入会数：個人会員0、団体会員0

JRRN 会員特典一覧表 (団体会員・個人会員)

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：<http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF 茅場町ビル7階 (公財) リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3865 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>

